

## γ-オリザノール可溶化液

本品は、イネ *Oryza sativa* Linné (*Gramineae*) の種皮から得られた、γ-オリザノール(トリテルペンアルコールのフェルラ酸エステル)をO/W型に可溶化したものである。本品は、定量するとき、γ-オリザノール(C<sub>40</sub>H<sub>58</sub>O<sub>4</sub>:602.90) 0.8~1.2%を含む。

### 製造方法

γ-オリザノール、トリ2-エチルヘキサン酸グリセリル、トリイソステアリン酸ポリグリセリル-2、ピログルタミン酸イソステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレンオクチルドデシルエーテルを混合、加熱溶解する。この液にクエン酸、クエン酸ナトリウムを溶解した精製水を加え、さらに1,3-ブチレングリコールを加え、混合し、ろ過して製品とする。

原料 100 kg → 製品 約100 kg

### 性状

本品は無～淡黄色の液体で、わずかに特異なおいがある。

### 確認試験

- γ-オリザノール  
本品のエタノール溶液(1→1000)の吸収スペクトルを測定するとき、波長325 nm付近に吸収の極大を示す。
- γ-オリザノール  
本品1 gに水酸化カリウム・エタノール試液10 mLを加え、加温して溶かすとき、液は黄色を呈する。

### 純度試験

- 重金属  
本品 1.0 g をとり、第 2 法により操作し、試験を行うとき、その限度は、20 ppm 以下である。ただし、比較液には、鉛標準液 1.0 mL をとる。
- ヒ素  
本品 1.0 g をとり、第 3 法により試料溶液を調製し、試験を行うとき、その限度は、2 ppm 以下である。

### 定量法

γ-オリザノール

本品約0.15 gを精密に量りとり、エタノールを加えて溶かし正確に100 mLとし、必要ならば、ろ過する。この液

につき、波長325 nm付近における吸収の極大波長で吸光度Aを測定する。測定した吸光度Aから次式より、 $\gamma$ -オリザノールの含有量を求める。

$$\gamma\text{-オリザノール含有量}(\%) = (A \times 100) / (W \times 363)$$

A: 測定した吸光度

W: 試料の重量(g)

#### 一般生菌数

衛生試験法 一般生菌試験法に従い、試料原液を希釈液で10倍希釈し試験を行うとき、一般生菌数は  $1 \times 10^2$  個/g 以下である。

#### 真菌数

衛生試験法 真菌一般試験法に従い、試料原液を希釈液で10倍希釈し試験を行うとき、真菌数は  $1 \times 10^2$  個/g 以下である。

#### 大腸菌群

衛生試験法 大腸菌群試験法に従い、上記一般生菌数で使用した10倍希釈液1mLを試料溶液とし試験を行うとき、大腸菌群は陰性である。

この規格及び試験方法において、別に規定するものの他は、外原規 通則及び一般試験法を準用するものとする。

製品名: オリザガンマー® クリア 製造業者: オリザ油化株式会社 愛知県一宮市北方町沼田 1
---

発行日: 2016年1月7日